インストールガイド

AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズ

AXIS M3113-VE ネットワークカメラ

AXIS M3114-VE ネットワークカメラ

日本語

このマニュアルについて

本書では、ネットワーク上での AXIS M3113-VE と AXIS M3114-VE のインストール手順について説明します。ネットワークの構築経験があると、本製品のインストールに役立ちます。

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。
本製品には H.264 デコーダー用のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定のインストールで妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害をもたらし、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き（STP）ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 – This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference, in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

カナダ – This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

ヨーロッパ – CE This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 – この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。本書やユーザーズマニュアルにしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア – This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22.

韓国 – Class B: As this equipment has obtained EMC registration for household use, it can be used in any area including residential areas.

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、および使用してください。本装置にはユーザーが独自に交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字 • 脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料、資材の提供、パフォーマンス、使用の結果に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive). This directive is applicable in the European Union member states.
The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste. To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process. For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area.
Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly. This product should not be mixed with other commercial waste. 詳細については、www.axis.com/techsup/commercial waste を参照してください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことができます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。データベースは、製品名、カテゴリー、または語句を使用して検索できます。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

安全確保

製品をインストールする前に本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品を保管する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。本パッケージに付属の CD または www.axiscom.co.jp で入手可能なユーザーズマニュアルに記載されている制限内の保存温度と動作温度を維持してください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な圧力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤または噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。このようなアクセサリーは Axis またはサードパーティから購入できます。
- 製品を自分で修理しないようにしてください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。
- 温度変動が画質に影響する可能性があるため、カメラを熱源の近くにインストールしないでください。
- カメラは訓練を受けた専門家がインストールする必要があります。インストールに関する国および現地の規制を順守してください。

AXIS M31 シリーズインストールガイド

このインストールガイドでは、以下のネットワークカメラのインストール手順について説明します。

AXIS M3113-VE

AXIS M3114-VE

本製品の使用に関するその他の事項の説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または www.axiscom.co.jp からご覧いただけます。

日本語

インスト ール手順

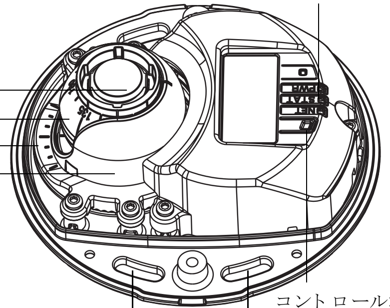
1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. 6 ページの「ハードウェアの概要」を参照してください。
3. ハードウェアをインストールします。8 ページを参照してください。
4. IP アドレスを設定します。10 ページを参照してください。
5. パスワードを設定します。13 ページを参照してください。
6. ピントの調節を行います。14 ページを参照してください。
7. インストールを完了します。14 ページを参照してください。

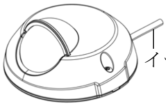
重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 説明
ネットワークカメラ	AXIS M3113-VE, AXIS M3114-VE
アダプター、レンズツール、上部カバーツール、穴あけテンプレート、六角レンチ	
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズインストールガイド (本書) Axis 保証書

ハードウェアの概要

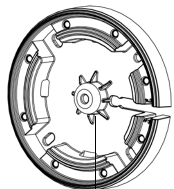




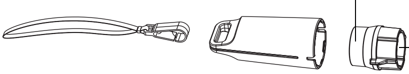
上部カバーツール

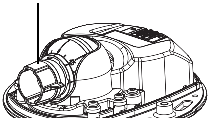


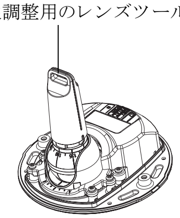
アダプター



レンズツール







インジケーター

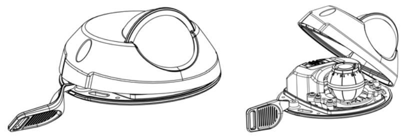
LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100Mbps ネットワークに接続時に点灯します。ネットワークアクティビティがある場合は点滅します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続時に点灯します。ネットワークアクティビティがある場合は点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。注意：ネットワークインジケーターは通常動作中に消灯するように設定できます。設定するには、**[Setup] > [System Options] > [LED] 設定**に移動します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
ステータス	緑色	通常動作時に点灯します。 注意：ステータスインジケーターは、通常動作中に消灯させたり、ネットワークカメラへのアクセス中にだけ点滅させたりすることができます。設定するには、**[Setup] > [System Options] > [LED] 設定**に移動します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、または設定の復元時に点灯します。
	赤色	アップグレードに失敗した場合にゆっくり点滅します。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレード中に、緑色とオレンジ色で交互に点滅します。

各種コネクター

ネットワークコネクター – 5m のケーブルが付いた 10BaseT/100BaseTX 用の RJ-45 イーサーネットットコネクター (オス)。Power over Ethernet を利用してネットワーク経由で電源を供給することができます。

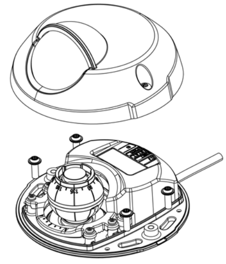
日本語

❶ ハードウェアのインストール



1. カメラユニットから 2 本のネジを外して上部カバーを取り外します。次に、上部カバーツールを下部カバーの隙間に差し込んで持ち上げます。
2. 必要なインストールの種類に応じて、以下の該当する手順にしたがってください。

アダプターを使用せずにカメラを取り付ける



1. カメラのレンズが正しい方向を向くように取り付け面上で穴あけテンプレートを調整して、ネジ用の 4 つの穴とカメラ用の 1 つの穴を開けます。
2. カメラのネジ溝と取り付け面のネジ穴を揃えて、カメラを 4 本のネジで固定します。

注意 :

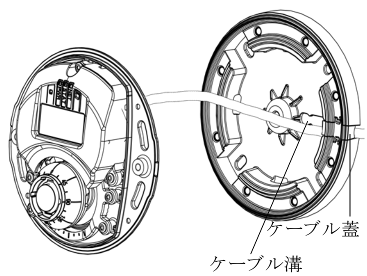
ワッシャー付きのネジ頭が高さで 5mm、直径で 7mm を超えないことをお勧めします。皿頭ネジは使用しないでください。

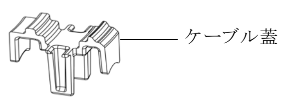


3. カメラのイーサーネットケーブルにネットワークケーブルを取り付けます。

アダプターを使用してカメラを取り付ける (壁伝いの配線)

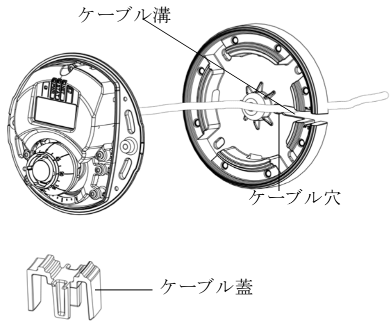
1. アダプターを取り付け面 (壁または天井) 上に置き、適切にケーブル用の溝を配置します。
2. 面の素材に適した 4 本のネジでアダプターを固定します。
3. カメラのイーサーネットケーブルをアダプターのケーブル溝に沿って引き出します。
4. 側面配線用のケーブル蓋をアダプター側面の溝に押し込みます。
5. カメラをアダプターに取り付けて、レンズが正しい方向を向くようにカメラを回転させます。
6. カメラのネジ溝がアダプターのネジ穴に重なるように調整して、4 本のネジで固定します (トルク < 2.5 Nm)。
7. カメラのイーサーネットケーブルにネットワークケーブルを取り付けます。





アダプターを使用してカメラを取り付ける (壁を貫く配線)

1. カメラのイーサーネットケーブルをケーブル溝に通します。ケーブルが穴にはまるように調整します。
2. 適切なケーブル蓋をアダプター側面の溝に押し込みます。
3. 面の素材に適した 4 本のネジでアダプターを固定します。
4. 上記の手順 5 ～ 7 にしたがいます。

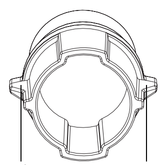


❷ レンズの向きの調整

レンズツールをレンズホルダーに装着して、レンズツールハンドルを望ましい方向に回してレンズの位置を調整します (6 ページの図を参照)。垂直方向は 0 ～ 90° の範囲で (ウェザーシールドが視界を遮っていないことを確認)、水平方向は左右どちらかに 30° まで 5° きざみで調整できます。

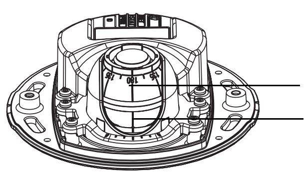
レンズホルダーを回して画像を調整することもできます。

画像が水平になるように、レンズツールのリブを水平に揃えます。



注意 :

レンズホルダー上の「0」マークは画像の一番下を示し、「180」マークは画像の一番上を示します。前述の*ハードウェアの概要*を参照してください。カメラを逆さまに取り付けた場合は、「0」マークが一番上で、「180」マークがレンズの下になるように調整します。



光学ホルダーの底部内側の直線を光学マウントの中央の直線に揃えます。

❸ IP アドレスの設定

AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズは、イーサーネット ネットワーク上で使用するように設計されており、アクセス用の IP アドレスが必要です。現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワーク上に DHCP サーバーが存在しない場合は、AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズのデフォルト IP アドレスとして 192.168.0.90 が使用されます。

Windows 環境で IP アドレスを設定する際は、AXIS IP Utility または AXIS Camera Management をご使用ください。これらは無償のアプリケーションで、製品に付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードしてご利用いただけます。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も適した手段をお選びください。

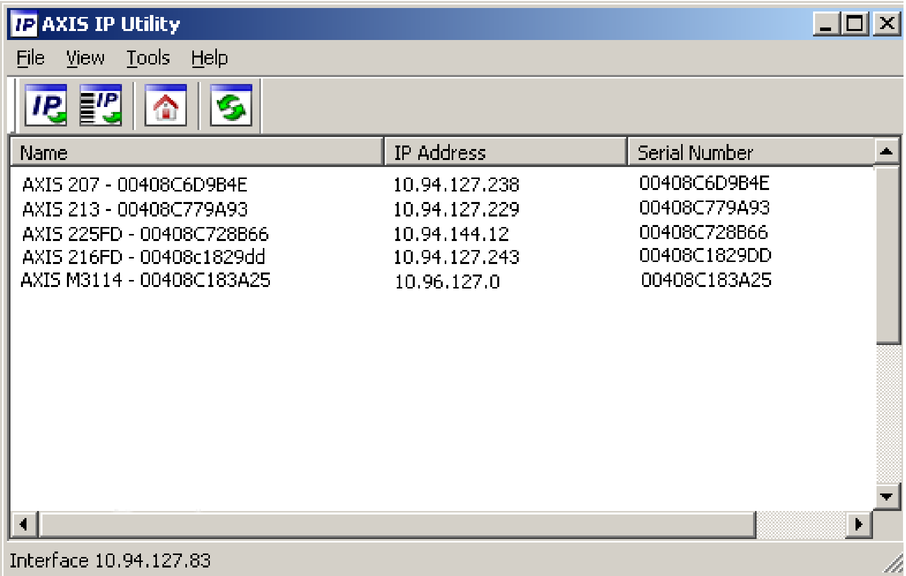
使用できる手段	推奨されるカメラ設置環境	オペレーティングシステム
AXIS IP Utility 11 ページを参照	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 12 ページを参照	複数台のカメラ 大規模インストール 別のサブネット上でのインストール	Windows 2000 Windows XP Professional Windows Server 2003 Windows Vista

注意：

- IP アドレスを設定できない場合、ファイアウォールが設定をブロックしていないか確認してください。
- 別のオペレーティングシステムを使用する場合など、その他の IP アドレスの設定および検出方法については、15 ページを参照してください。

AXIS IP Utility – 1 台のカメラ / 小規模インストール向き

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。このアプリケーションを通じて、手動で静的 IP アドレスを設定することもできます。AXIS IP Utility は、Axis のネットワークビデオ製品 CD 上で、または、ホームページ (www.axis.com/techsup) からダウンロードしてご利用いただけます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) 上にインストールする必要があります。

自動検出機能

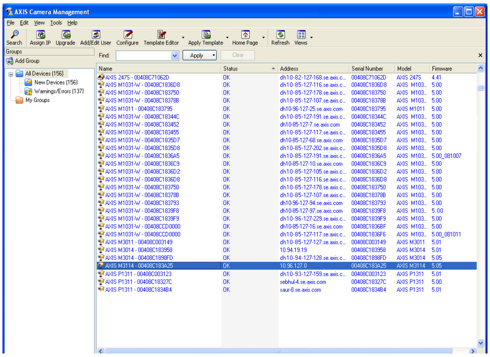
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. カメラがウィンドウに表示されたら、それをダブルクリックしてホームページを開きます。
4. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。

IP アドレスを手動で設定する (オプション)

1. コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストで AXIS M3113/AXIS M3114 を選択します。
3. [選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定] ボタンをクリックします。IP アドレスを入力します。
4. [シリアル番号を利用して IP アドレスを設定] ボタンをクリックし、指示にしたがいます。
5. [デバイスのホームページを表示] ボタンをクリックして、カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。

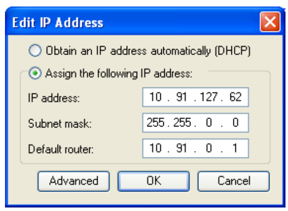
AXIS Camera Management – 複数台のカメラ / 大規模インストール向き

AXIS Camera Management はネットワーク上の複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

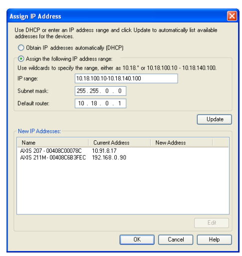
1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。カメラがウィンドウに表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、13 ページを参照してください。



1 台のデバイスの IP アドレスを設定する

1. AXIS Camera Management で AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズのいずれかを選択し、[Assign IP] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address] を選択して、デバイスで使用する IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトルータを入力します。
3. [OK] をクリックします。

複数台のデバイスの IP アドレスを設定する



AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめて IP アドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address range] を選択して、デバイスで使用する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、およびデフォルトルータを入力します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

❹ パスワードの設定

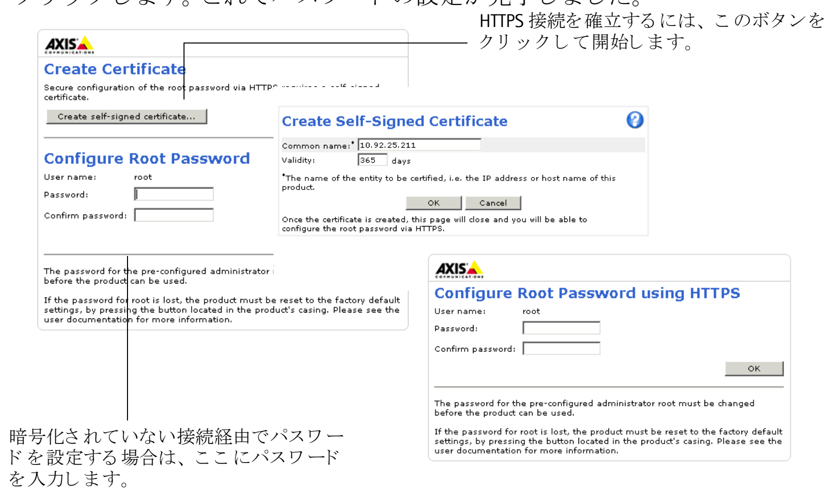
製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー root 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される [Configure Root Password] ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

標準の HTTP 接続経由でパスワードを設定する場合は、[Configure Root Password] ウィンドウでパスワードを入力します。

暗号化された HTTPS 接続経由でパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



4. ログインするには、ダイアログの要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。

注意：デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。

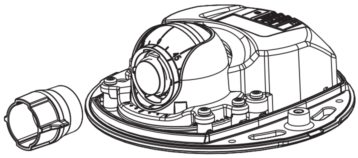
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークカメラを工場出荷時設定にリセットする必要があります。16 ページを参照してください。

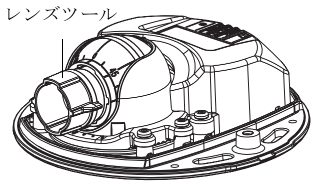
日本語

必要に応じて、[Yes] をクリックし、AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを再生できます。これを実行するには、コンピューターの管理者権限が必要です。

ネットワークカメラの [Live View] ページが表示されます。右側の [Setup] リンクをクリックすると、カメラをカスタマイズするためのメニューオプションが表示されます。

⑤ ピントの調節





黒色のゴム側を装着してピント を調節する

レンズツールをレンズツールホルダーから引き抜いて、反転させ、黒色のゴム側をレンズに装着します。ピントの調節を行います。[Live View] ページで画像をチェックしながら、レンズツールの透明側を使用してレンズを必要な位置に移動します。*ハードウェアの概要*、6 ページの図を参照してください。

上部カバーを元に戻すと、ドームの光学的影響で画像が少しぼやけて表示される場合があります (特に、望遠 / ズームレンズの場合)。補正するには、意図した領域よりも少し近い領域にピントを合わせます。可能な場合は、レンズの前に上部カバーを置いてピントを調節します。

⑥ インストールの完了

インストールを完了するには、上部カバーを慎重に元に戻して、拘束ネジを締め付けます。上部カバーのゴム製ガスケットとそれが収まる底板上の部分にほこりが付いていないことを確認します。

この時点でライブ映像をチェックして、上部カバーのウェザーシールドが画像に影響していないかどうかを確認します。影響している場合は、前述のようにレンズを再度調整します。

レンズの交換

ネットワークカメラのレンズを交換するには :

1. レンズツールの黒色のゴム側をレンズホルダーに装着してレンズを回しながら外します。
2. レンズツールからレンズを外し、新しいレンズをレンズツールに装着します。
3. 新しいレンズをカメラに装着してレンズを固定します。
4. 前述のようにピントを調節します。

IP アドレスのその他の設定方法

下の表に示すすべての方法がデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	説明
UPnP™	Windows	コンピューターで有効になっている場合は、カメラが自動的に検出され、[マイネットワーク] に追加されます。
Bonjour	MAC OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供しているサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。利用するには、HTTP プロキシを使用していないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの発行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバーの管理ページの表示	すべて	DHCP サーバーの管理ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

カメラを AVHS サービスに接続してビデオをホスティングすることもできます。AVHS サービスと契約している場合は、サービスプロバイダーのインストールガイドの指示にしたがってください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーの詳細や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。

カメラの所有者認証キーが本製品に添付されています。このキーは、ラベルの上部に記載されているカメラ固有のシリアル番号 (S/N) と関連付けられています。

注意 :

このキーは、今後参照するために保管しておいてください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメント上で IP アドレスを入手します。
2. カメラのラベル上、シリアル番号 (S/N) を探します。
3. コンピューター上でコマンドプロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

Windows での構文	Windows の例
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > ping -l 408 -t <IP アドレス >	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac での構文	UNIX/Linux/Mac の例
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > temp ping -l 408 <IP アドレス >	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -l 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を入れ直してカメラを起動 / 再起動します。
5. 画面上に 'Reply from 192.168.0.125: ...’ などの応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス >」を入力し、Enter キーを押します。

注意 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、「cmd」を入力してから、[OK] をクリックします。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、[Application] > [Utilities] で Terminal ユーティリティを使用します。

工場出荷時設定へのリセット

この手順では、IP アドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時設定にリセットされます。

1. カメラの電源を切ります。
2. 2 本の拘束ネジを緩めて上部カバーを取り外します。
3. コントロールボタンを押したまま、電源を入れます (6 ページの「ハードウェアの概要」を参照)。
4. ステータスインジケーターがオレンジ色で点滅するまでコントロールボタンを押し続けます (約 15 秒かかります)。
5. コントロールボタンを放します。約 1 分後、ステータスインジケーターが緑色に変化したら、この操作は完了です。ネットワークカメラが工場出荷時設定にリセットされました。デフォルトの IP アドレスは 192.168.0.90 です。
6. IP アドレスを再設定します。
7. カメラのピントを再調節します。

Web インターフェースを使用してパラメータを工場出荷時設定にリセットすることもできます。[Setup] > [System Options] > [Maintenance] に移動します。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品に付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD または Axis の Web サイト (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

> ヒント！
> www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、製品の Web ページで **[Basic Configuration]** メニュー項目をクリックします。

インストールガイド	Ver.1.0
AXIS M31-VE ネットワークカメラシリーズ	作成日 : 2011 年 1 月
© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2009-2011	製品番号 : 40837